

恵山の火山活動解説資料（平成 22 年 3 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

- ・ 火口や噴気の状況（図 2～3）

9 日に北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。X 火口や Y 火口では高さ数十 m 程度の白色噴煙が確認され、噴煙の状況に特段の変化はありませんでした。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、前回（2009 年 3 月）と比較して X 火口および Y 火口の地熱域の状況には変化は認められませんでした。

- ・ 地震活動（図 4、表 1）

今期間発生した火山性地震は 35 回で、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

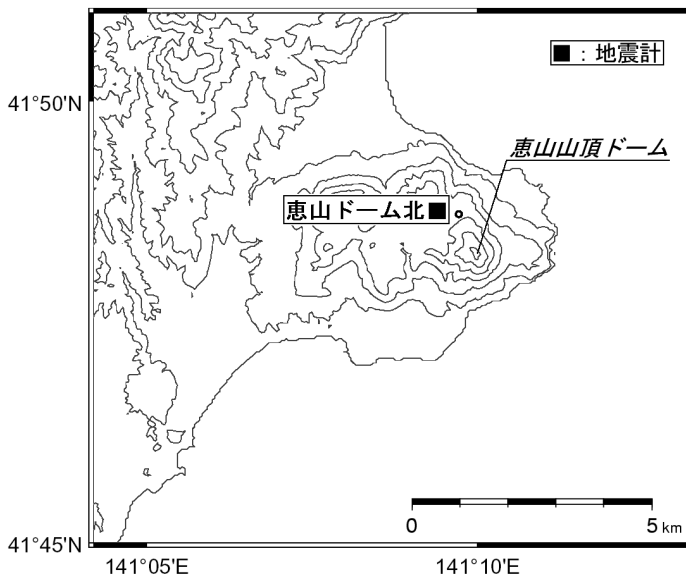


図 1 恵山 観測点配置図

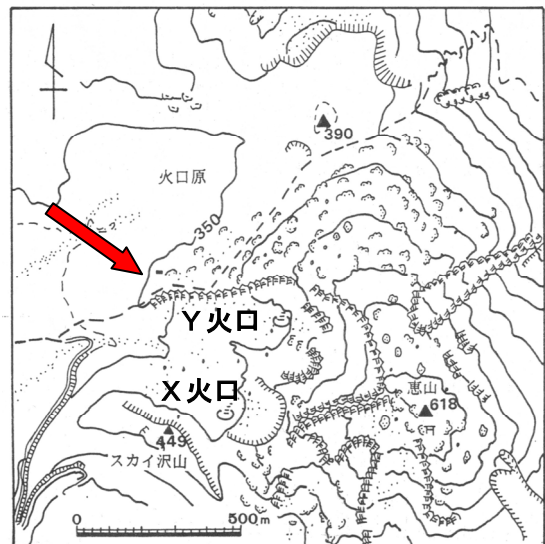


図 2 恵山 山頂周辺図

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 4 月分）は平成 22 年 5 月 11 日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

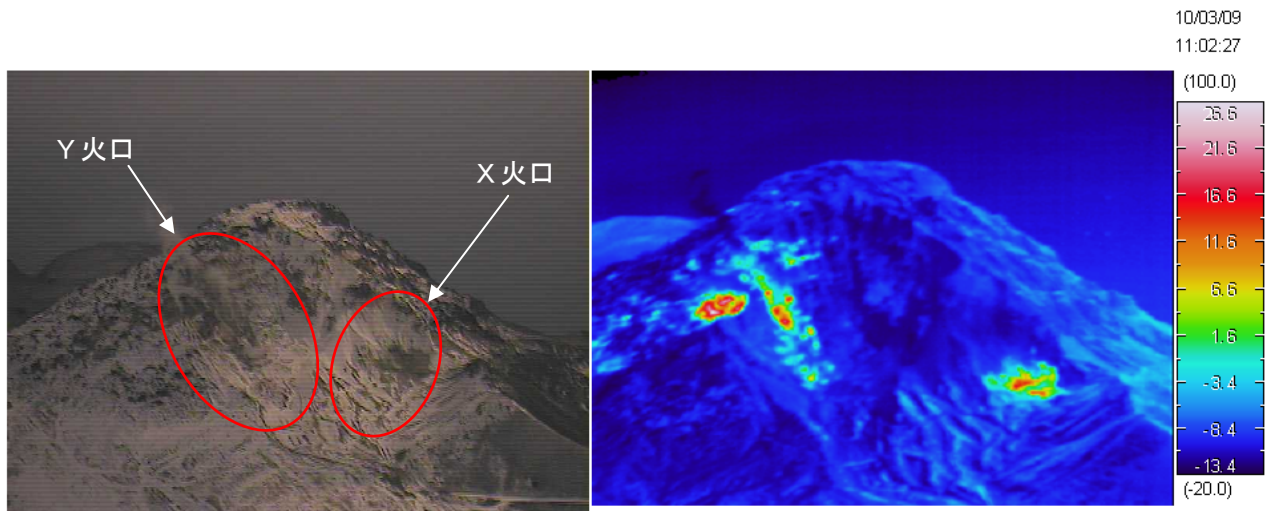


図3 恵山 赤外熱映像装置¹⁾によるX火口及びY火口周辺の地表面温度分布
 (図2 矢印方向上空より撮影)

- ・赤外熱映像装置¹⁾で観測した地表面温度分布は前回(2009年3月)と比較して特段の変化はありませんでした。

表1 恵山 地震・微動の月回数(図1の恵山ドーム北で計数)

2009~2010年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地震回数	38	40	59	37	16	*(1)	*(13)	12	21	17	26	35
微動回数	0	0	0	0	0	*(0)	*(0)	0	0	0	0	0

*恵山ドーム北は障害のため9月5日~10月6日まで欠測

() は欠測を含む地震・微動回数

・2010年3月の回数は暫定値であり、後日修正することがあります。

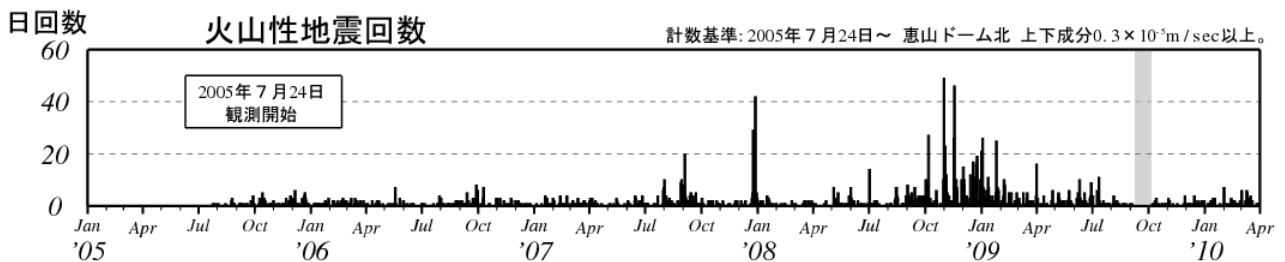


図4 恵山 日別地震回数(2005年7月~2010年3月)

図の灰色の期間は欠測